

# 第7章

---

## 資料編

## 第7章 資料編

### 1 地域を元気にしている活動事例

市内の各地域を元気にしている活動をいくつか紹介します。

その他の地区の活動については、今後「広報なんこく」や「社協だより」等を通じて各地域へ発信していく予定です。

#### (1) ごめんほのぼのMAP

～優しい心になれる町～

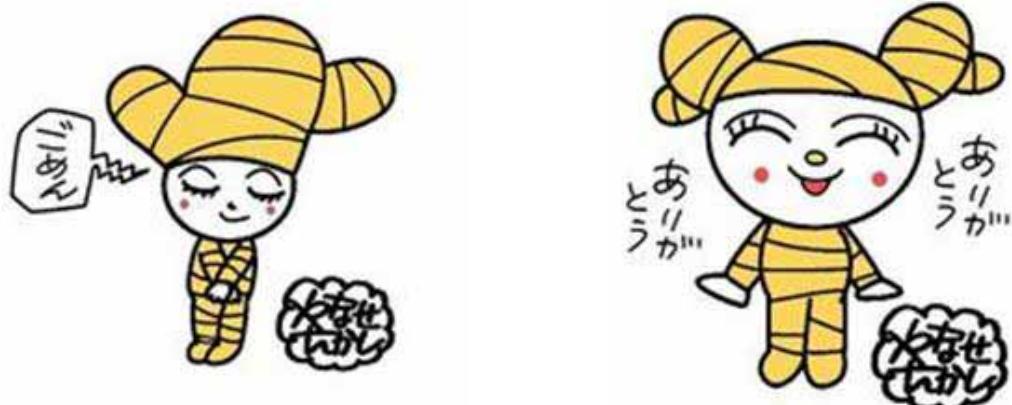
ごめん町では「ごめん町まちづくり委員会」の委員が町を歩いて再発見した町の良さも盛り込んで、案内板とマップを作成しています。

案内板はJRごめん駅・ありがとう駅・ごめん町商店街の3箇所に設置し、マップはJRごめん駅やごめん町商店街の各商店で配布しています。

マップを片手にJRごめん駅の詩碑「ごめん駅でごめん」、後免野田小学校にある石像の「やなせライオン」、「ありがとう駅」、そしてごめん町商店街の「ハガキでごめんなさい」の作品などをご覧になってみてください。

商店街では、商品の包装紙としてマップを使用するなど、各商店で工夫し自分たちのごめん町を積極的にPRしています。また公民活動として、マップを使った紙バックづくりの講習会を予定しております。

ごめん町では地名を活かして「優しい心になれる町」をキャッチフレーズにまちづくりを進めてきました。これからも「ごめん」と「ありがとう」を活かしてごめん町に住む人が自ら楽しみ、訪れた人にも楽しさや優しさが伝わる取り組みを継続し、まちに賑わいを取り戻せる活動を行っていきます。



## (2) 稲生小学校 P T C A

～学校を核とした地域の元気～



稻生地区では、平成 17 年度より『稻生小学校を核にして地域教育力の再生をしていこう』との想いから、PTA に地域を意味する「C: コミュニティ」を入れた PTCA 化により、地域・学校・家庭・児童の連携を推進しています。

“C”の方々は、開かれた学校づくり推進委員を中心に、公民館長や、民生児童委員、農業就労者、スポ

ーツクラブ指導者、昔遊び指導者などで構成されています。

### 〈PTCA の取り組み〉

#### ◆ ラジオ体操と「朝型社会の復権」

地域の人に運動習慣を身につけてもらうためと児童の姿勢改善のため、週明けに行われる学校の朝礼時、児童と地域の人と一緒にラジオ体操を実施しています。地域の人が子どもたちの学校生活を見られるとともに、健康づくりの機会になっています。また絵本の読み聞かせなども行っています。



#### ◆ 地区の祭り

夏祭りを PTCA で復活させ、若い人から高齢者までみんなが集まり、楽しめる地域の身近なイベントになりました。カッパのフィギュアを作成し活性化のシンボルとし、地域文化の継承につなげています。

#### ◆ 地域で活動している団体との連携

地区女性グループのメンバーが、学校行事の田植えや稲刈り・たまねぎ栽培・芋ほりなどの食農体験をサポートしています。20M以上もあるロング巻き寿司作りは 12 月の恒例行事となっています。

また、PTCA を中心とする学校と地域との協働で、学校行事がより地域とのふれあいを大切にしたものになっており、地域活性にもつながっています。

#### ◆ 2 分の 1 成人式を地域で祝う

10 歳を迎える小学 4 年生の 1/2 成人式に地域の人も参加し、地域の宝である子どもたちの成長を、一緒に祝っています。

#### ◆ 稲生の文化が薫る日

11 月の最終日曜日に午前中は小学校で「学習発表会」、午後からは公民館で「ふれあい文化祭」が実施されています。同じ日に開催されることで行事の参加者が増え、また世代間の交流推進につながっています。

### (3) 日章地区健康スポーツフェスティバル

#### ～地区民運動会から室内スポーツイベントへ～

市内には、旧村単位の地区民運動会が各地区で開催され、日章地区でも地区内の最大イベントとして、約10数年前まで、日章小学校グラウンドで校区内13部落の参加のもと日章地区民運動会が実施されていましたが、高齢化や若者の地域離れが進むにつれ、住民に負担感が残る地区民運動会に対して、各部落より廃止を求める声が広がり、日章地区民運動会は廃止となりました。

しかし、段々少なくなってきた地域の人の交流の場が更に失われ、地域の一体感が薄れていくことを危惧した地域の人は、日章地区公民館運営審議会において、誰でもが気楽に参加できるスポーツ中心のイベントを検討し、地域の人たちで楽しい地域、面白い地域にしていくことの大切さに気がついてもらうことを目的に、「日章地区健康スポーツフェスティバル」に形を変え、平成16年度より日章福祉交流センター（日章公民館）で開催しています。

健康スポーツフェスティバルは、みんなが一緒に楽しめる屋内スポーツイベントであり、従来の競争型の競技でなく、レクリエーション、ゲーム、ニュースポーツ、アトラクション等を取り入れ、高齢者や子どもなど誰でもが参加でき、また見るだけでも楽しめるイベントとなり、近年は500人近くの地域の人が集まるようになっています。

日章地区健康スポーツフェスティバル			
1. 日 時	2. 会 務	競技種目	競技内容
1. 日 時：平成28年10月30日(日) 開会式 12時45分～閉会式16時～	会務：日章福祉交流センター	競技開始 13時～16時	作成日9/8
2. 会 務：日章福祉交流センター	競技員紹介 西園大会役員		
順序	時間	競技種目	競技内容
1 1:00 ～1:10	デモンストレーション		
2 1:15 ～1:25	日本タワー 部落対抗 出場人数：4名 競技時間3分 ※参加賞あり	○ 終方にある机に番号を書み上げ、時間内に10個全部早く読み上げたチームの勝ち。 ○ リレー形式で1人1秒のみ読み上げる。 ○ 例ねたら直さずに次の人にリレーして読み下す。 ○ 全部読み上げた時、ボーナス点1点を得点。	【机】4卓 【台】10ヶ×4×3=120個 ○ 競技…4個対戦 ○ 得点…4, 3, 2, 1
3 1:30 ～1:40	すおってボーリング 部落対抗 出場人数：5名 ※参加賞あり	○ 道場はイスに座ったままでボールを両手で握りながらビンを倒す。 ○ ピンが倒されたら審判員が手立て直す。 ○ 必ず台面で沈没する。 ○ 1人で投球で全員投球後、例ねたピンの結果で順位を決める。	【ボール】4ヶ 【ベットボール】6×11=66 【三井用】4個 【缶】1枚 【机】1枚～4枚 ○ 競技…4, 4, 4 部落対戦 ○ 得点…総長得点プラス4, 3, 2, 1,
4 1:45 ～1:55	デモンストレーション	各部落公民館へインカ比喩	
5 2:00 ～2:05	おかしひらい 動物と親	○ スタートラインから出し前方に置いてあるお菓子袋を、1人1個持って帰ってください。 ○ 必要であれば、親が付き添ってください。	予想数：70名 【ブルーシート】1枚 【缶】1瓶 【お菓子】(70個)
6 2:10 ～2:20	大人と小学生 (各部落4組まで) ※参加賞あり	○ 直の合図で旗がピンポンを飛ばし、手袋着器で受け取る。 ○ 受け取れなかったチームは景品をもらって去る。跳ったチームでもう一度行う。	【缶】1枚 【ピンポンボール】20個 【ラバカッパー】48個 ※最後2組の場合は3人、3組の場合は2人になるまでゲーム
7 2:25 ～2:35	第一番 各部落対抗 出場者：館長、副館長 会計(※年度後貰也可) ※各隊へ参加賞有り	○ 直の合図でスタートし、前方のトイレットペーパーの芯を出るまで引き出す。 ○ 引き出す時は足を動かさない。 ○ 若が出たら次の人にリレーする。 ○ 最後の人のゴールで順位を決める。	【缶】1個 【トイレットペーパー】 【神】4本 ○ 競技…4組対戦 ○ 得点…10点

8 2:40 ～2:55	千利休 部落対抗 出場人数：4名 ※参加賞あり	○ スタート合図で前方机でタジを引く。 ○ 競技机に行きタジに示されたドリンクを飲むかみかんを食べる。 ○ 審判員の指示で終了シゴールに帰る。 ○ 1組ごとの順位を合計し総合順位とする。	【机】5卓 【コーラ】24個 【みかん】24個 【天然水】24個 【ビール】12個 【缶】【ケージ・クジ箱】 ○ 競技…4, 4, 4 部落対戦 ○ 得点…順位の合計点
9 3:00 ～3:10	デモンストレーション		
10 3:15 ～3:25	オセロ 部落対抗 出場人数：5名 ※参加賞あり	○ 半乳パック30個を競技場内に自衛を上にして放らぼらす。 ○ 合図で自分のチーム色(赤か黄)を上にする。 ○ 時間内に自分のチームの色の玉方が勝ち。	○ 半乳パック30個+α 【机】1個 【ストップウォッチ】1 ○ 不振舞はなし。 ○ 競技…2チーム対戦 ○ 得点…勝ちチーム3点 負けチーム1点
11 3:30 ～3:40	ごはんですよ 部落対抗 出場人数：4名 ※参加賞あり	○ くじを引く。 ○ 横の机の上に色分けして書かれている物をじゅもじの上に黒せて競技。 ○ リレー形式で次の人にバトンの代わりにじゅもじを渡す。 ○ 最後の人気が早く帰ったチームの勝ち。	【机】2卓【イヌ】6脚 【くじ】 【カラーボール】 ①6ヶ②5ヶ③5ヶ 【風船】6ヶ 【ピンポン玉】6ヶ 【ボール】6ヶ 【しゃもじ】4ヶ 【机】1枚～4枚 ○ 競技…4, 4, 4 部落対戦 ○ 得点…4, 3, 2, 1
12 3:45 ～4:00	一発逆転玉入れ競争 部落対抗 出場人数：5名 ※参加賞あり	○ 各部落に新聞紙20枚ずつ配る。 ○ 自分で新聞だまを作り、カゴの中へ玉を入れる。 ○ カゴの中へ入った数で、順位を競う。	【新聞紙】1/2紙 20枚×11 チーム数 一発逆転玉入れ競争 【机】1個 【缶】1個 【ストップウォッチ】 ○ 競技…6, 5 部落対戦 ○ 得点…カゴの中の新聞紙の数が得点。

競技種目・名前も工夫しており、プログラムを見るだけでも楽しい様子が伺える**健康スポーツフェスティバル**です

## (4) 左右山地区広報『SOYAMA NOW』

### ～「困ったときは、お互いさま」の地域へ～

左右山部落会では、平成17年度より年に2回、左右山地域における、取り組みやお知らせ等を、カラー図版・写真入りの広報誌『SOYAMA NOW』にて紹介することで、地域の交流・地域の支えあいを推進しています。

地域の活動を写真入りの記事にすることで、地域のために地域の人が活動していることを知る（見る）ことができ、地域へのつながりが深まるとともに、活動する人々の励みにもなっています。更に当日参加できなかった人へのお知らせ効果もあり、次回参加へつながることもあります。

また、「小学校新入生の紹介」、「小学校校長先生の投稿」、「地域の人の投稿」などにより、地域の子どもたちを地域で見守り育てる意識の高揚等、地域密着型の広報紙となっています。

『SOYAMA NOW』の配布は地域の世帯だけでなく、高知県外在住の人を含め左右山地域出身者の人へ郵送しており、今は左右山地域を離れていても、定期的に左右山地域の活動が分かることで、ふるさととのつながりを保ち続けています。

発刊時より道の駅南国〈風良里〉において、利用者の人への閲覧を実施し、他の地域への情報発信を行っています。